

一般社団法人輝水会 令和3年度第3回通常理事会議事録

開催日時	令和3年9月11日(土) 12:40より開催
開催方法	Web会議システム(利用サービス名:Zoom ミーティング)の開催
出席(参加)理事	手塚由美(自宅)、小川彰(自宅)、井筒紫乃(自宅)
出席(参加)監事	山中章江(自宅)
欠席理事	無
議事録作成者	手塚由美

定刻、議長手塚由美は、本日Web会議システムの開催により、出席者の音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一同に会すると同時に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認の後、理事会の開催を宣し、以下の議事に入った。

【決議事項】

第1号議案 新規個人正会員入会希望の件

議長より別添え付属資料を示しながら説明に入った。議場に諮ったところ全員異議なくこれを承認した。

新規個人正会員

岐部 義晃氏 白須 朝美氏 芳村 恵子氏 美濱 寿美子

【協議事項】

1. せたがや福社区民学会発表の件(別紙参照)

議長より別添え資料を示しながら説明があった。全員で協議し、スミセイコミュニティスポーツ推進助成における事例について、第1期参加者である井筒理事が感じた当事者と支援する側の気づきについて事例報告として、11月1日締め切りに向けて対談映像をまとめる、もしくはパワポに音声を入れた形で発表準備を行うこととした。

2. 日本女子体育大学との連携の意義の件(別紙参照)

議長より別添え資料を示しながら説明があり、全員で協議した。小川理事より日本女子体育大学との連携について、日本女子体育大学の創立以来の理念を重んじつつ、とらわれ過ぎ

ることなく共同研究を推進することが望ましいとの意見があった。ニチジョクラブにおける連携などについては、コロナ収束後再開時にすぐに動けるよう準備していく。

3. 公益認定の方向性の件(別紙参照)

議長より別添え資料を示しながら説明があり、全員で協議した。前年度総会で承認された定款変更を基に、整合性のある公益申請書の方向性について全員で協議した。公益認定のキーワードを「スポーツ」「サステイナブルな社会」「健康」について当法人の考えを明らかにし、理事間での共通認識を持ち公益申請書に反映させることとした。

4. 会計顧問変更に伴う費用の件(別紙参照)

新たな会計顧問の費用について、全員で協議した。今後公益認定も控えていることから、顧問料の高低だけを追求せず、こちらの意図する期日に合わせ的確に資料の作成を行ってもらえるかなど確認することが望ましい、との意見が小川理事よりあった。当法人の社員(個人正会員)でもある生明真氏が代表を務める会計事務所(ケイブリッジ公認会計士共同事務所)に堀内潤一氏の減額の交渉結果を待ち、次回理事会で決議することとする。

【報告事項】

1. 世田谷区社会福祉事業団オンライン研修会の件

議長より別添え資料を示しながら報告があった。

2. 日本損害保険協会自賠責運用益拋出事業：2022年度事業申請の件(別紙参照)

議長より別添え資料を示しながら報告があった。

4. 世田谷区人材育成・研修センター夏休み福祉体験会の件

議長より別添え資料を示しながら報告があった。

5. スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラムの件

議長より別添え資料を示しながら報告があった。

6. 第3回水中アビリティエクササイズリモート講習会、及び水中リラクゼーション体験会の件

議長より別添え資料を示しながら報告があった。

7. 小川理事業務委託契約に基づく業務費支払いの件(別紙参照)

議長より別添え資料を示しながら報告があった。

8. 日本女子体育大学との共同研究における倫理審査完了の件
議長より別添え資料を示しながら報告があった。

9. 島根県プレ講習会の件
議長より別添え資料を示しながら報告があった。

以上

以上をもって、本日の議事を13時50分終了し、本日のWeb会議システムを併用した理事会は終始異常なく議題の審議を終了した。

上記議事の経過及び結果を明かすためにこの議事録を作成し、出席理事・監事は記名捺印する。

令和3年9月11日

一般社団法人輝水会

議長・理事長 手塚 由美 法人印

理事 小川 彰 印

同 井筒 紫乃 印

監事 山中 章江 印